

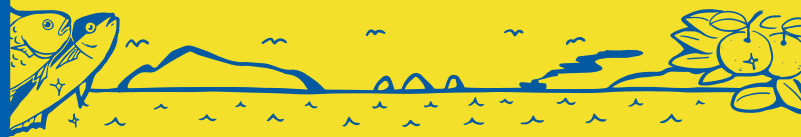
# 愛南から愛媛を元気に。

もくじ

- 1 ごあいさつ
- 2 トピックス
- 3 一般質問と答弁
- 4 県の予算関係
- 5 活動報告

愛媛県議会議員

中田こうたろう



## 県政 Prefectural government Journal ジャーナル

No.8

令和6年1月

### 謹賀新年

ごあいさつ  
令和6年新年を迎えて

愛媛県議会  
令和5年6月、  
12月定例議会  
一般質問に登壇



新春の候、寒い日々が続いておりますが、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、コロナ禍が明け、日常が戻ってきたことで、国内各地への出張や海外への視察等、これまでにないほど多忙な日々を過ごしました。その日々の中、現在、議員発条例である愛媛水産振興条例(仮称)プロジェクトチームの副座長として、事業者や県民のためになる条例の制定に向けて、尽力しているところです。

令和5年度当初予算では不安定な国際情勢や、想定を上回るスピードで進む人口減少やデジタル技術の進化など、本県を取り巻く大きな変動要因をしっかりと捉え、中村県政の新ステージの公約の実現に挑戦する積極型予算が編成され、知事就任以来最大となる7069億3000万円(151項目)の予算を議決しました。

地元、愛南町の話題ですと、以前から取り組んできておりました、県立中央病院と南宇和病院をオンラインでつなぎ遠隔で診察診断を行うオンライン診療の実証実験がようやく昨年9月から始まりました。これを契機に南宇和病院に専門医不在の際でも適切な診療が行える体制整備に向け引き続き取り組んで参る所存です。また、ロシアによるウクライナ侵攻による穀物流通量の減少、中国、ロシアの輸出規制、歴史的な円安などがあいまり、養殖等の配合飼料価格の高騰や燃油価格の高騰が問題になっており、県として対応する施策を講じているところです。また、これら以外にも、県内には喫緊の課題が山積しており、同時並行に取り組んでいるところです。

今回の県政ジャーナルでは、2度の一般質問の内容をはじめ、各活動報告を中心に書かせて頂きましたので是非ご覧になってください。

今後とも、地元の諸課題に軸足を置きつつ、愛媛県全体の発展の為、取り組んで参りますので引き続き、ご指導賜り、皆様の暮らしの中での困り事や、困っている声を聞いた等ございましたら、いつでもお聞かせください。

今年一年が皆様にとって、明るく幸せで健康な年になりますようお祈りしております。

有権者に年賀状を送ることは違反になりますので、本誌をもって年始のご挨拶とさせていただきます。



## 01 不登校対策に取り組む

不登校児童生徒数は、年々増加し問題となっております。全国での不登校児童生徒数は平成 29 年度の 14 万 4031 人に対し令和 3 年度には 24 万 4940 人に増加。愛媛県においても、平成 29 年度の 1209 人に対し令和 3 年度には 2233 人に増加しております。そのような中、知事主催の政策立案勉強会「LS21」において「不登校児童対策」をテーマに取り上げ、有効な施策を提案できるよう定期的に勉強会を開催し議論しています。

サポートルームやスクールソーシャルワーカーの配置義務の検討や、不登校児童に対する対応マニュアルを議発条例で策定するなど様々な可能性を考えています。

一番重要なのは、子どもが学校に行けなくても、自由に学ぶことが出来、どのように社会に送り出していくのか、ということ。完全な引きこもりになってしまう前に、一人一人に合った学びの場所の提供や家族に寄り添った環境づくりに向けて取り組んで参ります。



LS21政策立案勉強会



松山学院で  
不登校に  
ついて学ぶ



不登校対策について意見交換



## 02 オンライン診療が一歩前進

3年前から取り組んでいた、県立南宇和病院におけるオンライン診療が一歩前進しました。

実証事業として令和 5 年 9 月から県立中央病院にいる専門医が南宇和病院とオンラインでつなぎ、患者さんを診察します。南宇和病院側には、医療秘書・看護師のかたが診察内容を記録して、処方箋等を出せるようにします。この事業は、患者さんとの対話の時間が確保できることと、患者さんの安心にもつながる他県に先んじた取り組みです。

医師不足、常設の診療科が減少しているなか、これを契機に、多くの診療科に広がっていくように取り組んで参ります。

## 03 議発条例制定にむけ

議院発条例で愛媛県水産振興条例（仮称）を策定するためプロジェクトチームが立ち上がり副座長を拝命しました。項目や条文の中身について都度、議論をし精査をおこなっています。すでに水産・環境の条例が制定されている三重県や兵庫県にも視察に行かせていただき議論を深めています。事業者や県民のためとなる条例にすべくしっかりと取り組んで参ります。



三重県視察



兵庫県視察



# 一般質問と答弁の概要

## 県立南宇和病院について、医師や看護師の確保及び診療科の充実に今後どう取り組むのか。

答弁者 公営企業管理者

全国的に医師の偏在は大きな課題であり、南宇和病院では、自治医科大学卒業医師・地域枠医師の配置や愛媛大学からの派遣に加え、中央病院医師や県立病院退職医師の診療支援等により、診療科の確保に努めている。また、人口減少に伴い採用が困難となりつつある看護師を確保するため、今年度の採用試験から、配属先を南宇和病院に限定する特別枠を設置し、10月には大阪会場での試験も計画するなど新たな対策にも取り組んでいる。

さらに、5Gによる高性能な通信システムを活用して、南宇和病院の一部の診療科において、中央病院の専門医による診察をオンラインで受けられる仕組みも新たに導入することとしており、今後とも、医師・看護師の確保の取組みに加え、情報通信技術による医療資源の効果的な活用を図り、南宇和病院の診療体制の充実に努めてまいりたい。

## 高速道路の南予延伸に向けた現状と、今後の取組みはどうか。

答弁者 知事

高速道路ネットワークは、県民の「安全・安心で快適な暮らし」を実現するうえで重要な役割を担う社会基盤であり、中でも、南予延伸は、南海トラフ地震等の大規模災害への備えはもとより、交流人口の拡大による賑わいの創出、さらには、主要産品である柑橘や水産物の輸出など、「地域の稼ぐ力」を高めるうえでも、必要不可欠であることから、一日も早い全線開通に向け積極的に取り組んでいる。

南予延伸は県民の悲願であり、私自身が、国に対し、あらゆる機会を捉え、事業中の津島道路、宿毛内海道路の整備推進と、唯一未着手となっている「御荘・一本松」間の早期事業化を強く訴えており、引き続き、地元市町をはじめとする関係機関と連携し、県選出国會議員などの力添えもいただきながら、全力で取り組んでまいりたい。

## 昨年の刑法犯認知・検挙の状況はどうか。また、犯罪の検挙及び抑止に向けた取組みはどうか。

答弁者 警察本部長

県内における令和4年中の刑法犯認知件数は、戦後2番目に少ない5,970件であったものの、前年比166件増と19年ぶりに増加した。また、刑法犯の検挙件数は3,255件と前年比210件増、検挙率は54.5%と前年比2.0ポイント増で、全国平均の41.6%を上回っている。

防犯アプリ「まもるナビ」を通じて凶悪事件の発生や特殊詐欺の予兆情報等をタイムリーに情報発信するとともに、いわゆる「闇バイト」を含む違法・有害情報についても情報収集に努めるなど犯罪の未然

早期に捜査体制を確立し、大量の捜査員を投入して初期集中捜査を徹底している。引き続き、県民、事業者、関係機関等との連携・協力を一層強化するなど地域の犯罪情勢に即した効果的な犯罪抑止対策を推進するとともに、各種犯罪が発生した場合は迅速・的確な捜査により事件の早期検挙に努めてまいりたい。

## 不登校児童生徒の社会的自立に向けて、今後、サポート体制の充実にどのように取り組むのか。

答弁者 教育長

全国的に増加傾向にある不登校児童生徒に適切に対応するためには、不登校の未然防止に向けた学校での取組強化や初期対応への組織的な理解促進に努めるとともに、学校外でも子供たちが安心して学ぶことができる多様な学びの場を確保し提供するなど、重層的なサポート体制の構築が重要と認識。

学識経験者やフリースクール関係者等の意見も取り入れた「不登校の未然防止と初期対応の手引き」を作成し、県内全ての小中学校に周知したところであり、不登校の早期発見・早期対応等に関する組織的対応力の底上げと学校間格差の解消を図っている。

さらに今年度は、県総合教育センター内に不登校支援拠点を設置し、自宅から出られない生徒のための仮想空間上の学び場「メタサポキャンパス」を7月に開設するほか、不登校未然防止に向けた研修会や、県指導主事が学校等を巡回し優良対策事例等の共有や助言・指導を行う「アウトリーチ型支援」を実施することとしており、今後とも関係機関等との連携の下、不登校の未然防止と児童生徒の社会的自立に向けたサポート体制の充実に努めて参りたい。

## 農業者が将来に希望を持って柑橘栽培に取り組めるよう、本県柑橘産地の生産力強化にどう取り組むのか。

答弁者 知事

近年、頻発する災害や深刻化する担い手不足、老木園の増加等により、生産力の低下が懸念されており、将来に夢と希望が持てる柑橘産地を継続するには、省力化と高収益を両立できる生産力の高い産地づくりが必要。

このため県では、西日本豪雨被災園地の復旧・復興はもとより、生産者が行う緩傾斜化などの園地改良を支援するとともに、園地の若返りや、マルドリなど先端技術の導入のほか、関係機関と連携したロボット運搬台車やドローン防除等のスマート農業技術の開発・実装を強力に推進するなど、高齢化や担い手不足への対応も見据えつつ、作業効率の改善や生産力の向上に取り組んでいる。

さらに、儲かる品種として期待されている「紅プリンセス」の令和7年本格出荷に向けた早期成園化や施設等の導入支援を行うとともに、「ミショー」をはじめとする柑橘のブランド化や販路開拓を推進するなど、新たな需要創出も積極的に図ることとしており、今後とも、魅力ある産地づくりを進め、儲かる農業を実現して、生産量日本一の奪還と「柑橘王国えひめ」の堅持に

しっかりと取り組んでまいりたい。

### 燃油や飼料価格高騰の影響を受ける県内漁業関係者に対し、どのように支援していくのか。

答弁者 農林水産部長

漁業者による省力化・省コスト化の取組みを促進するため、省エネ型エンジンへの交換をはじめ、給餌効率を向上させるAI搭載のスマート給餌機や、養殖網洗浄ロボットの導入を補助するなど、効率的な操業や生産性の向上を後押しするほか、万が一に備えたセーフティネットへの加入に必要な積立金の一部について、今年度も助成を継続するなど、価格高騰の影響を受けにくい経営体質への改善を支援している。

さらに、6月補正予算案では、漁協所有の古い冷凍・冷蔵機器の省エネタイプへの更新を支援する経費を計上し、養魚用飼料の保管コスト削減により、漁家の費用負担を軽減することで経営の安定化にも取り組むこととしており、今後とも、市町や関係団体と連携し、効果的な施策を適宜適切に実施するとともに、国内外での販路開拓にも戦略的に取り組むことで、「水産王国えひめ」の地位を盤石なものにしてまいりたい。

### 市町の海業の推進の取組みも踏まえ、水産業の振興や漁村の活性化にどう取り組んでいくのか。

答弁者 農林水産部長

今後とも持続可能な水産業を実現するには、生産振興等に加え、海や自然などの魅力を活かした漁村ならではの取組みを展開し、相乗効果により地域の活性化につなげる視点が重要と認識。

このような中、愛南町では、国が推進する海業のモデル地区に選定され、既に着手している磯焼けの一因となるウニの駆除と利活用による藻場の再生等を通じたカーボンニュートラルな漁港づくりをはじめ、環境配慮型の養殖業を学ぶサステナブルツーリズムの検討など、将来の地域づくりに向けたランドデザインについて、県も参画した海業推進会議において協議を進めているところ。

県としても、海業は水産業の振興のみならず、地域のにぎわい創出や所得向上、雇用確保など、漁村の活性化にも効果が期待できる取組みと認識しており、先行する愛南町はもとより、他の市町についても、それぞれのニーズを踏まえながら支援に努めるとともに、生産活動や海業の取組みを支える漁港施設の機能強化、水産資源の回復や水産物の消費拡大など、ハード・ソフト両面の施策を推進し、「水産王国えひめ」の地位をしっかりと堅持して参りたい。

### 瀬戸内海の豊かな海づくりに向け、どのように取り組んでいくのか。

答弁者 知事

瀬戸内海は、多島美が織りなす美しい景観はもとより、貴重な漁業資源や観光資源などの多大な恩恵をもたらしてきた世界に誇れる私たちの宝であり、健全な姿で次

世代に引き継ぐべきものであることから、瀬戸内海的环境保全に万全を期することは、大変重要な課題と認識。

このため県では、瀬戸内法の一部改正に伴い、11月に『瀬戸内海的环境の保全に関する愛媛県計画』を改定し、引き続き水質総量規制や生活排水対策、海砂利採取禁止の堅持等の対策を推進するとともに、瀬戸内海を「きれいな海」から「きれいで豊かな海」へ転換するため、新たに海洋プラスチックごみ等の除去・発生抑制や気候変動への対応を目標に追加したところ。

特に、栄養塩類の適切な管理については、漁獲量の減少や養殖ノリの色落ち問題への対策として、漁協及び市町と連携し、環境への影響を確認しながら、令和7年度を目途に実効性のある栄養塩類管理計画を策定することとしている。今後とも、南予地域の海洋プラスチックごみの回収強化等を含め、水質環境の保全と水産資源の持続可能な利用の両面から幅広い取組みを進めることにより、瀬戸内海の豊かな海づくりに努めてまいりたい。

### 高速道路の南予延伸の現状と、御荘～一本松間の早期事業化を含む全線開通に向けた今後の取組みはどうか。

答弁者 土木部長

現在、国が工事を本格化させている津島道路では、全長約2.5kmの新内海トンネルの掘削が約650mに達し、掘削土を利用した内海IC周辺の盛土工事が進んでいるほか、上畑地地区の橋長100mを超える橋梁上部工に年度内に着手する予定であり、昨年度事業化された宿毛内海道路においても、地形測量が完了し、地質調査や設計が順調に進捗している。さらに、今国会で成立した補正予算において、前年度を大きく上回る配分が示され、南予延伸の加速が期待される所。

県としては、今後とも、あらゆる機会を捉え、県選出国會議員等の力添えをいただきながら、地元愛南町や各期成同盟会をはじめとする関係機関と連携して、既に事業化されている区間の整備推進はもとより、御荘・一本松間の早期事業化を国に強く要望するなど、一日も早い全線開通に向け全力で取り組んでまいりたい。

### 10周年を迎える愛顔感動ものがたり発信事業について、応募状況はどうか。また、本県のPRやイメージアップに向け、どう取り組んでいくのか。

答弁者 知事

今年度10周年を迎える本事業については、5月に東京都内で水樹奈々さんと秋川雅史さんなどをゲストに迎え、記念すべき年にふさわしいPRイベントを盛大に開催したほか、新たにインスタグラムを開設し積極的な情報発信を行った結果、全都道府県と海外3か国から9,066作品の応募をいただいております。今年も新たな感動との出会いに期待している。

本事業のこれまでの歩みを振り返る企画など10年間積み重ねてきた歴史を踏まえ、内容を更に充実させるとともに、WEB配信も活用しながら、本事業の魅力余す所なく広く発信することで、更なる認知度の向上と愛媛ファンの獲得に繋げていきたいと考えている。

今後とも、発信力のある著名人のご協力も得ながら、国内外の幅広い層に対しSNS等を活用した感動エピソードなどの発信・拡散を図り、本県独自の取組である愛顔と感動に包まれたものがたりの提供を通じて「愛顔」の輪が本県から全国へ、より着実に広がっていくよう取り組むとともに、本県の認知度向上とイメージアップにも繋げて参りたい。

### 横断歩行者の更なる安全確保に向けて今後どのように取り組んでいくのか。

答弁者 警察本部長

今年度からは、手上げ横断の更なる普及を図るため、「手上げ横断モデル事業所」の指定を始めている。具体的には、指定された事業所の従業員が率先して横断歩道で手を上げるなどするというもので、こうした姿が多くの県民の目に触れることにより、これまで以上に手上げ横断の普及が進むものと期待している。

関係機関・団体等に加え、県民一人一人の理解と協力の下、取組みを進めた結果、横断歩道上の交通事故で亡くなった歩行者は、本年11月末現在3人と、対策前の令和2年同期の6人と比較して半減するとともに、JAFの「信号機のない横断歩道実態調査」における本県の車両停止率は、令和2年の14.5%から本年は58.5%と約4倍に向上している。

今後も、交通事故分析に基づく事故の発生傾向や県民の意見・要望等を踏まえ、不断の見直しを図りながら、社会一丸となった取組みを推進し、痛ましい事故を1件でも減らしてまいりたい。

### 地域医療の格差是正のため、県立南宇和病院の医療提供体制の充実にとどのように取り組んでいくのか。

答弁者 公営企業管理者

地域医療格差の要因である医師の偏在は、本県にとっても大きな課題であり、南宇和病院では、地域医療を志す自治医科大学卒業医師や地域卒医師の配置により、常勤医師を確保するとともに、愛媛大学等からの派遣や中央病院からの診療応援、さらには県立病院を退職した医師や地元医師会等の協力も得て、救急医療をはじめ地域の中核病院としての機能確保に努めている。

また、デジタル技術を活用した格差是正の一つの取組として、今年9月から、中央病院の呼吸器内科の専門医によるオンライン診療を開始し、南宇和病院の患者の診療機会の拡大と診療応援医師の負担軽減を図っているところであり、今後、その効果と課題を検証し、オンライン診療の拡大について検討したいと考えている。

地域医療の格差是正には、国の実効性のある対策が不可欠であることから、全国知事会等を通じ、医師の偏在解消や公立病院の運営支援の強化等を引き続き国に強く求めるとともに、進化するデジタル技術も活用し、地域の限りある医療資源を最大限に生かしながら、南宇和病院の医療提供体制の充実に努めて参りたい。

## 令和5年度当初予算（案）の概要

5年度当初予算は、長引くコロナ禍や不安定な国際情勢をはじめ、想定を上回るスピードで進む人口減少やデジタル技術の進化など、本県を取り巻く大きな変動要因をしっかりと捉え、新たなステージにおける諸課題に対し、施策の重点化を図りながら的確に対応。

県政の重要課題である西日本豪雨災害からの復興と防災・減災対策、人口減少対策、地域経済の活性化の政策3本柱に、新型コロナウイルス対策とデジタル技術の活用の2つの基軸を追加した、新ステージの公約の実現に挑戦する積極型予算を編成。

当初予算額 一般会計 7,069億3,000万円 <知事就任以来最大>  
特別会計 2,508億1,999万円 企業会計 689億7,409万円

## 令和4年度2月補正予算（案）の概要

一般会計▲18億3,637万円 特別会計30億3,158万円 企業会計5,402万円

## 令和5年度4月専決補正予算の概要

エネルギー価格・物価高騰への緊急対応

予算規模 一般会計 31億4,770万円【現計予算額7,100億7,770万円】

## 令和5年度6月補正予算（案）の概要

- 1 エネルギー価格・物価高騰への対応 211億3,440万円
- 2 アフターコロナを見据えた交流・関係人口の拡大 2億9,793万円
- 3 防災・減災対策等の推進 91億9,405万円
- 4 重要課題への対応強化 7億7,442万円

予算規模 一般会計 314億80万円【6月現計予算額7,414億7,849万円】

## 令和5年度9月補正予算（案）の概要

- 1 エネルギー価格・物価高騰への対応 229億4,366万円
- 2 海外展開の推進などアフターコロナを見据えた対応 5億8,219万円
- 3 防災・減災対策等の推進 42億3,693万円
- 4 当面する課題への対応 35億 648万円

予算規模 一般会計 312億6,926万円【9月現計予算額7,727億4,775万円】

## 令和5年度9月補正予算（案）の概要

《釜山線新規就航関係追加予算》

韓国・釜山との航空路線の新規開設に向けた誘致活動や、本年7～8月のインバウンドチャーター便の好調な運航実績等を受け、**中四国では唯一となる釜山との定期航空路線の新規就航が決定した**ことから、路線の認知度向上や利用促進等に必要な経費を**9月議会に追加提案**する。

予算規模 一般会計追加分 1億2,076万円【9月現計予算額7,728億6,852万円】

## 令和5年度12月補正予算（案）の概要

- 1 当面措置が必要な経費 1億8,969万円
- 2 人事委員会勧告に基づく給与改定 30億 363万円

予算規模 一般会計 26億4,764万円【12月現計予算額7,755億1,615万円】  
企業会計（3会計） 5億4,568万円【12月現計予算額 695億1,977万円】

## 令和5年度12月補正予算（案）の概要

（総合経済対策関係追加予算）

- 1 エネルギー価格・物価高騰への対応 43億6,641万円
- 2 防災・減災対策等の推進 339億2,677万円【債務負担行為1億1,000万円】
- 3 物流の2024年問題など重要課題への対応 24億9,187万円

予算規模 一般会計追加分 405億732万円【12月現計予算額8,160億2,347万円】  
特別会計追加分 8,051万円【12月現計予算額2,509億 50万円】  
企業会計追加分 1億9,722万円【12月現計予算額 697億1,698万円】



### 知事に会派要望を提出

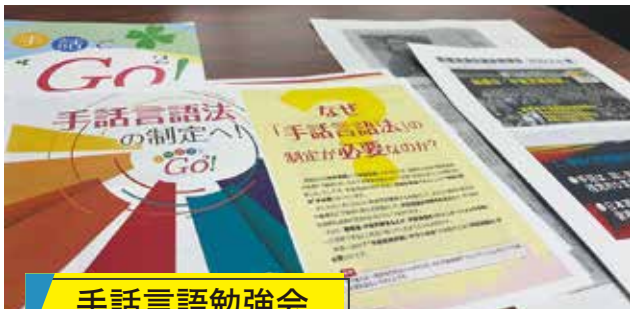
東中南予それぞれの地域課題を洗い出し要望書を作成し、知事に提出しました。

①中村県政「新ステージ」公約の実現②人口減少対策の推進③西日本豪雨災害の復興と防災・減災対策の充実④DX推進と人材育成⑤新型コロナウイルス感染症対策を含む合計165項目。



### 介護従事者や、当事者のために

一般社団法人 全国介護事業者連盟愛媛支部の顧問に就任し設立総会に出席しました。被介護者や従事者のためになる施策の実現と一緒に取り組んで参ります。



### 手話言語勉強会

手話言語勉強会に参加。手話は日本語と同等の言語とし、ろう者とろう者以外の者が共生することのできる地域社会を実現する議員提案による“愛媛県手話言語条例”制定に向けて尽力して参ります。



### インバウンドの取り込みに向けて

議長の代理として松山に初寄港する世界最大級の大型クルーズ船ベリッシマの歓迎セレモニーに出席。全長は315.8メートルもあり東京タワーの高さより大きい。総トン数は171,598tで乗客定員5,686人。この人流を県内各地へ。インバウンドの獲得に向け取り組みます。



### 子どもの権利、虐待防止に向け

本日は、恩師の塩崎元代議士が取り組んでいる、「NPO法人 子どもリエゾンえひめ」の児童虐待に関する講演会に参加。虐待を受ける子が一人もいなくなるように、社会的に子ども達を守る仕組みづくりに向けて取り組んで参ります。



### 四国4県議会野球大会

コロナにより4年ぶりの開催となった四国4県議会野球大会に出場。愛媛県がぶっちぎりで優勝しました。



### 地域の未来のために

えひめ地域リーダー育成塾を地元愛南町で開催。長谷川代議士に海業の取り組みについて講演いただき、深浦にあるハムスイさんで脱血技術や地域の未来につながる経営などについて学ばせていただきました。



愛媛県議会議員

中田こうたろう

〒798-4110 愛媛県南宇和郡愛南町御荘平城 3740

TEL 0895-73-0500

FAX 0895-73-2822

E-mail koutarou19850226@gmail.com

所属委員会

えひめ ICT 未来創造特別委員会  
環境保健福祉委員会 (副委員長)

役職

愛媛県生活衛生同業組合 顧問  
全国介護事業者連盟愛媛支部 顧問  
愛媛県相撲協会 参与  
愛媛県薬剤師会宇和島支部 顧問  
宇和島市倫理法人会 顧問

活動情報  
発信中!



スマホの方はこちら

<https://nakata-ainan.jp/>

